

授業科目名	グローバルリーダー入門	担当教員	小畑 克典
必修の区分	選択		
単位数	2 単位		
授業の方法	講義		
開講年次	2 年 第 1 クォーター		
講義内容	近年、「グローバルリーダー」という言葉を目にする機会が増えたが、それでは「グローバルリーダーとは何か？」と問うと、その定義はいささか判然としない。本講義では、先ず最初に、「グローバルとは何か？」という問いかけから始めた上で、日本国内にしようとも国外にしようとも、共通して生じる「異質なもののチーム活動・チーム運営」に焦点をあてる。異なる文化バックグラウンド、価値観、ゴール設定、スキルセットを持った多様な人間が、共通のゴールを設定してチームを組成した時にどのような課題が生じるか、それにどのように対処していくかを考え、実践へのヒントを各自見出していくことが本講義の目標である。 講義では、ビジネスの現場で直面したさまざまな実例を教材とし、リーダーシップ・フォロワーシップのあり方について受講者と一緒に考えていく。		
到達目標	・異文化や異なる価値観を理解する態度を身につけること ・多様性を持ったチームにおける共通のゴール設定、課題の発見と解決への筋道を見出す力を身につけること ・チームの成り立ちと状況に応じて柔軟なリーダーシップを発揮することの必要性を理解すること		
授業計画	第 1 回 オリエンテーション。国際派とは？グローバルとは？ 第 2 回 多様性の中で生きると/異文化に飛び込む 第 3 回 グローバルとローカルの狭間 第 4 回 文化の違いとステレオタイプ 第 5 回 リーダーシップの 6 類型 第 6 回 ビジョンを共有する 第 7 回 カルチャーを育てる 第 8 回 知恵は現場に落ちているのか？ 第 9 回 フィードバックを行う/悪い報せを伝える 第 10 回 チームの中で差別と向き合う 第 11 回 ハラスメント/異議を申し立てる 第 12 回 まとめ。グローバルリーダーシップとは何か		
事前・事後学習	授業のテーマに沿って、課題の提出を求めることがある。課題の提出状況・内容は、成績評価の対象となる。 授業でロールプレイを行う際には事前に講師からスキットを配布するの		

	で、目を通しておくこと。
テキスト	なし
参考文献	都度指示する
成績評価 の 基 準	受講態度（出席、授業中の議論への貢献） 30% 課題の提出状況・内容 30% 期末試験 40%
履修上の注意 履修要件	
実践的教育	経営分野の実務経験を持つ教員が、その実務経験を生かして講義を行うことから、実践的教育に該当する。
備考欄	定員超過の場合、抽選により履修者を選定する。